

伝道の書 第一章

ダビデの子 エルサレムの王

伝道者の言(ことば)

伝道者言(いは)く 空の空

空の空なる哉(かな) 都(すべ)て空なり

日の下に

人の勞して為(なす)ところの

諸(もろもろ)の動作(はたらき)は

その身に 何の益かあらん

世は去り 世は来(きた)る

地は 永久(とこしなへ)に長存(たもつ)なり

日は出で 日は入り

またその出(いで)し処に 喘(あへ)ぎゆくなり

風は南に行き 又 廻転(まは)りて北にむかひ

旋轉(めぐり)に旋(めぐ)りて 行き

風復(また)その旋轉(めぐ)る処にかへる

河はみな 海に流れ入る

海は 盈(みつ)ること無し

河は その出きたれる処に

復(また) 還りゆくなり